

# エコアクション21 全国交流研修大会 In 北上のまとめ

一般財団法人持続性推進機構  
エコアクション21中央事務局  
森下 研



# まずはじめに……

- **皆さん、カーボンオフセットの募金をしましたか？**
- **被災地域の物品の購入をお願いします。**

# 将来の気温予測 (IPCC第5次評価報告書)

- ✓ 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が、現在第5次評価報告書を作成中。
- ✓ そのうち、第1作業部会(自然科学的根拠)の報告書が9月27日に公表された。

- 1986～2005年を基準とした、2081～2100年における世界平均地上気温の変化は、0.3～4.8℃の範囲に入る可能性が高い。

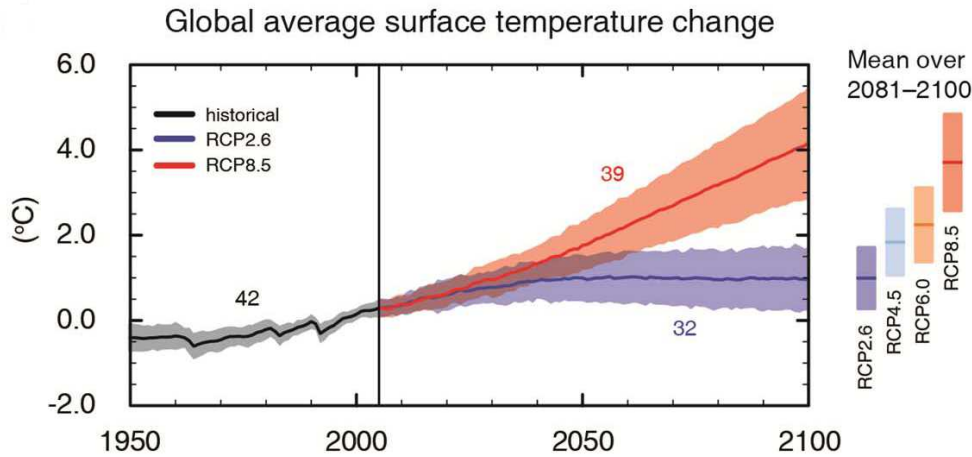


図1. 観測による世界平均地上気温変化  
(1986年～2005年を基準とした世界の年平均地上気温の変化)

表1. 21世紀末における世界平均地上気温の昇温度予測

シナリオ	平均(℃)	「可能性が高い」予測幅 (℃)
RCP2.6	1.0	0.3-1.7
RCP4.5	1.8	1.1-2.6
RCP6.0	2.2	1.4-3.1
RCP8.5	3.7	2.6-4.8

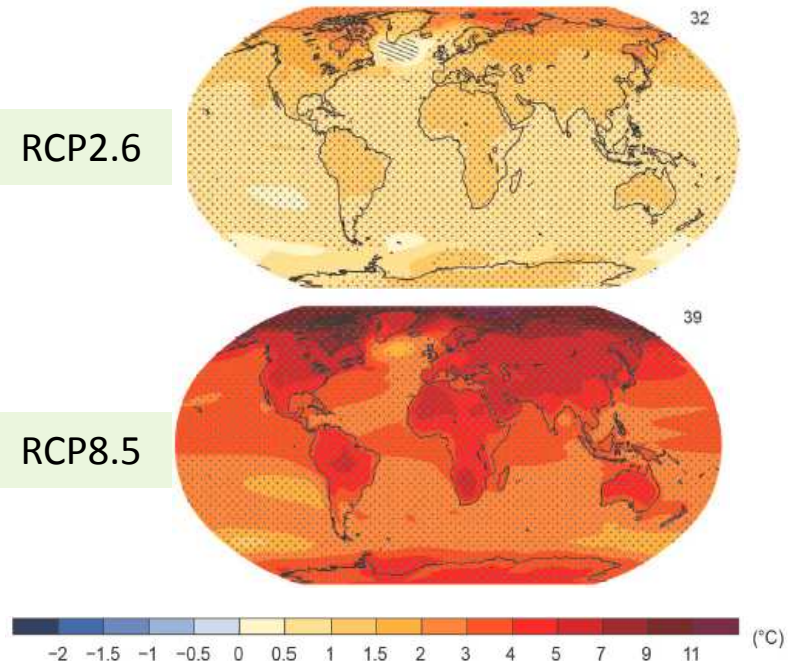


図2. 平均表面温度変化 (2081年～2100年の平均)  
(1986年～2005年を基準)

出典: 図1 AR5 WG1 政策決定者向け要約 Fig SPM.7  
表1 AR5 WG1 政策決定者向け要約 Table SPM.2  
図2 AR5 WG1 政策決定者向け要約 Fig SPM.8

# 気候安定化、気候変動コミットメント及び不可逆性 (IPCC第5次評価報告書)

- 二酸化炭素の累積排出量が21世紀後期まで及びそれ以降の全球地上平均の昇温の大部分を決定づける。
- 二酸化炭素の累積排出量と世界平均地上気温の上昇量は、ほぼ比例関係にある。
- 気候変動の多くの側面は、たとえ温室効果ガスの排出が停止したとしても、何世紀にもわたって持続する。

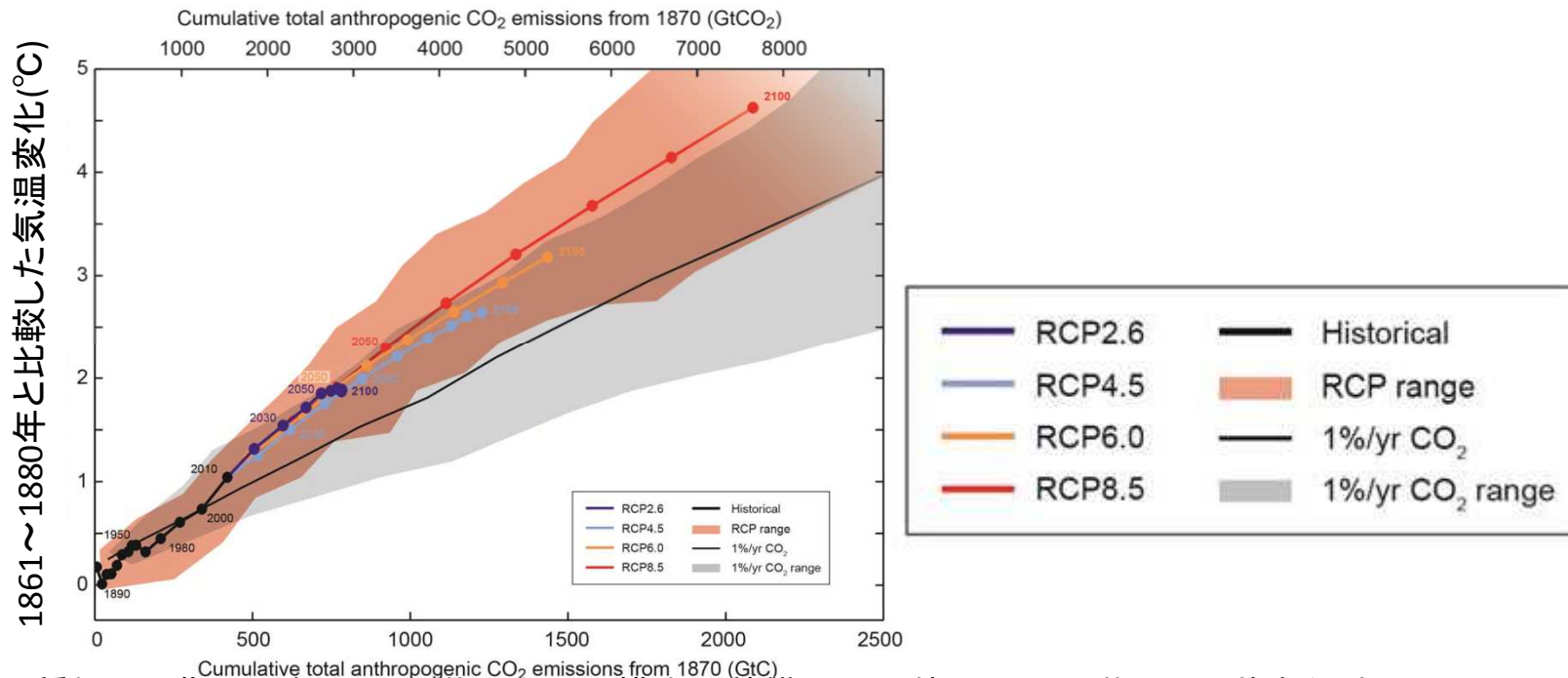


図1. 様々な種類の証拠から得られた世界のCO<sub>2</sub>排出累積総量の関数としての世界の平均気温上昇量

# 本交流研修大会のテーマ

## ～震災に学び、未来を創る～

- ・陸前高田市 戸羽市長のご講演
  - ・事業者様の好取組事例
  - ・模擬判定委員会
  - ・審査結果判定時のポイント
- ・パネルディスカッション：顧客満足度をあげていくために

エコアクション21の

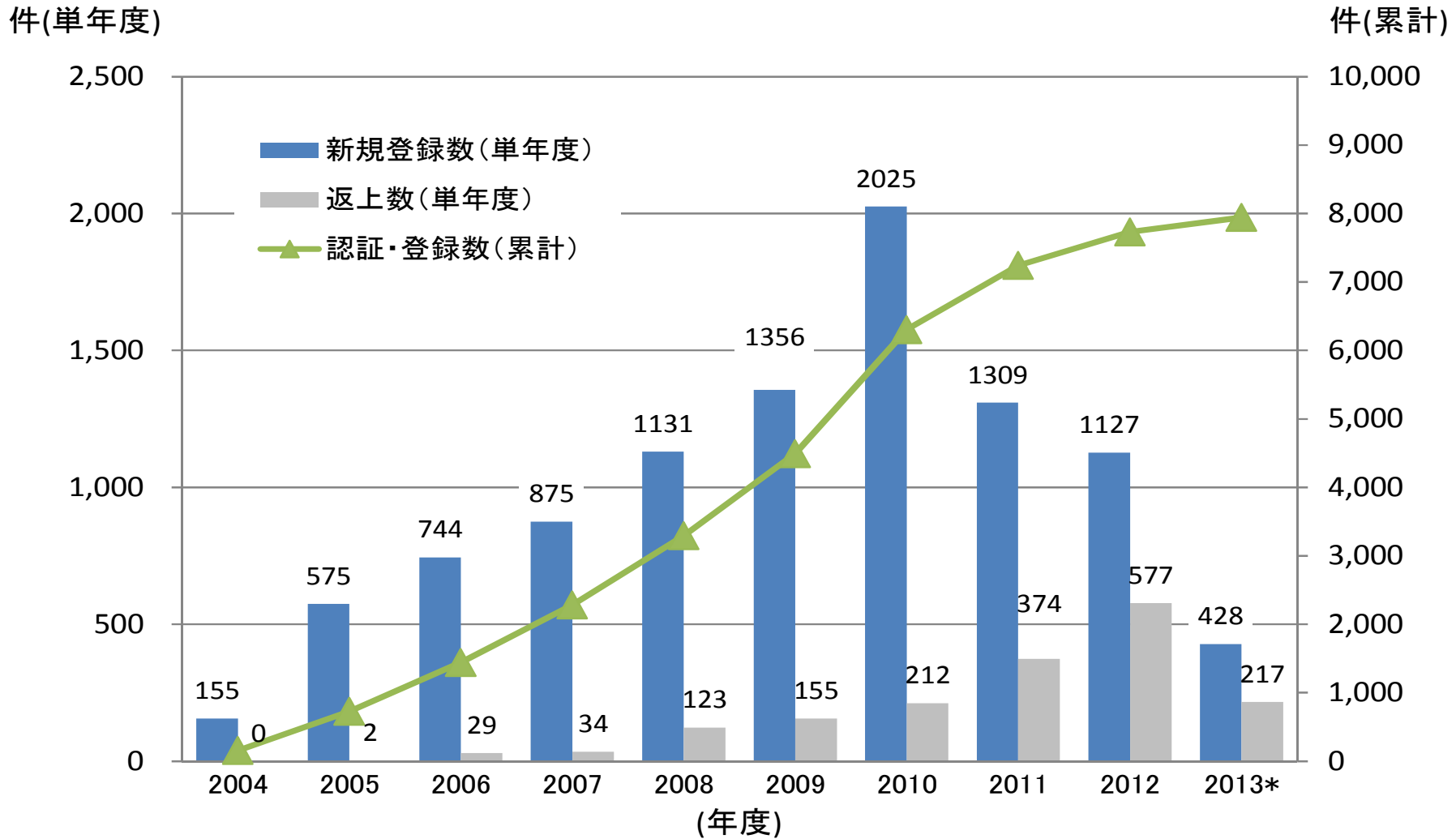
さらなる普及のための議論ができたか？

# 未来を創るための、経営に役立つEA21

- 特に今回は、判定委員の立場に立って、「より良い審査とはどのようなものか」、「お客様に役立つ、経営の役に立つ指導・助言とはどのようなものか」を検討していただきました。
- また、顧客満足度、エコアクション21の活性化の観点から、パネルディスカッションをしていただき、今後に向けての様々な視点、方策を提示していただきました。まだまだできること、すべきことは沢山あります。

**この大会で議論・検討されたことを踏まえ、これからも持続可能な社会創りに貢献する、事業者のためになるエコアクション21を目指していかなければなりません。**

# 認証・登録件数の推移



認証・登録数  
(累計)

155 728 1,443 2,284 3,292 4,493 6,306 7,241 7,729 7,941\*

# 改革提言の実現に向けて、WGを設置し、モデル事業の実施と改革の具体案の策定

- ・モデル事業（合同地域判定委員会、事業者アンケート、審査人评价 等）
  - ・九州・沖縄ブロック
  - ・地域事務局大阪
  - ・地域事務局静岡県環境資源協会
- ・地域事務局の要件の明確化
- ・新たな地域事務局業務のための経費確保のあり方
- ・業務合理化、効率化のためのシステム構築



# エコアクション21の 社会的使命を果たすために

- 何よりも、誰のための、何のための制度かを改めて関係者一同が考えることが重要です。
- そのためには、社会的な信頼を獲得できる制度であると同時に、審査人、事務局関係者がそのことをしっかりと自覚することが必要です。
- そして、事業者様の経営に役立つこと、環境負荷を削減できること、本業と関連した取組の同時達成が求められています。
- 来年度以降、「痛み」を伴う改革を実施していくものであり、関係者の「覚悟」を要請します。

# 環境省と協働して

- 環境省と協働し、新しいリーフレットを作成しました。
  - 地方環境事務所毎に、地域事務局名が入ったリーフレットです。
- 新しいパイロットプログラム：チャレンジ・エコアクション21が始まりました。
- 東南アジアを中心に、環境経営の普及を支援していきます。

大会をご後援いただいた環境省、岩手県、北上市、関係団体及びそのご担当者の皆様

ご講演をいただいた陸前高田市戸羽市長、好取組事例をご発表いただいた郡山開成学園様、ユーテムプレシジョン東北工場様、伸和産業様

分科会の取りまとめをしていただいた河合様、菊池様、村上様、ご講演いただいた佐竹様

パネルディスカッションをしていただいた溝口様、平井様、田邊様、後藤様、大熊様

司会進行をしていただいた梅木様

**ありがとうございました。**

大会を主催していただいた実行委員会  
(林委員長、高橋副委員長)の皆様、大会  
プログラムの内容を検討し、運営して  
いただいた東北地域の審査人、地域事務局  
銀河、地域事務局環境ネットやまがたの  
皆様、特に五ノ井さん、小原さん、市民部  
門の環境カウンセラーの皆様

本当にご苦労さまでした。お疲れ様でした。  
ありがとうございました。

**来年の10月5日に、エコアクション21  
認証・登録制度は、10周年になります。**

**その時には、本制度の新たな改革が動き始めている予定です。**

**10周年を皆様とともに迎え、エコアクション21の次の10年を歩んでいきたいと考えます。**

**来年、松山でお会いしましょう。**